ロンドン/ニュー・ウェスト・エンド・カンパニー

株式会社 都市構造研究センター

ニューウェストエンド・カンパニー(以下「NWEC」という)は、ロンドンのウェストエンドにあるボンドストリート、オックスフォードストリート、リージェントストリートの3つの大きな商店街を含む民間の資金援助によるビジネス・インプループメント・ディストリクト(以下「BID」という)である。

1990 年代後半、地域の公共空間に影響を及ぼす環境の悪化という共通の懸念事項を協議するため、ロンドン・ファースト (London First;投資促進機関)の保護の下、ウェスト・エンドの様々な業界関係者が集まった。1998 年、このフォーラムはウェスト・ミンスター・シティカウンシル(Westminster City Council; WCC)やその他公共機関とともに主要な土地所有者、小売関係者から成るウェストエンド・ショッピング組合 (the West End Shopping Syndicate)へと発展した。ウェストエンドを『国際的なショッピング街』として確立していく上での様々な問題について調査が行われ、その結果、国際的に位置づけ、維持していくための管理組織の必要性が認められ、2000 年 7 月にニューウェストエンド・カンパニーが設立された。

現在までの資金提供は、特に地域に関心のある 6 人の不動産所有者と、これらの商店街で小売業を営む 5 人の小売業者によるものである。また彼らはボードの一員でもあり、BID を設立するきっかけとなったロンドン・ファーストがボードに選出されている。さらに、私的な立場で就任しているウェスト・ミンスター・シティ・カウンシルの院内幹事もまたボードメンバーである。オブザーバーには WCC、ロンドン広域自治体 (General London Authority; GLA)、首都圏警察本部 (Metropolitan Police)、 the Street Associations and Westminster Property Owners Association の代表者が含まれている。

NWEC における官民パートナーシップは活動的かつ強力であり、共にウェストエンドを「国際的なショッピング街、観光地」として世界的に位置づけるという任務を遂行している。このように、ウェストエンドのビジョンは、不動産所有者や関係公共機関等と協力して密接に活動することによって築かれ、実行されている。

効果的な活動を行うため、NWEC はロンドン市長のロンドンプランだけではなく、WCC のユニタリー・デベロップメント・プランやシビック・リニューアル・イニシアティブのようなディストリクト向けのパートナー計画も大切にしている。

ボードメンバー(13名)

- Debenhams / Nigel Palmer (Retail Operations Director)
- Derwent Valley / John Burns (Managing Director)
- Grosvenor / Colin Redman (Director of Trusts)
- House of Fraser / Steve Hibbert (Store Operations Director)
- John Lewis Partnership / Peter Still (MD Oxford Street)
- Land Securities / Ian Henderson (Group Chief Executive)
- Legal & General Group Plc / Stephen Mundy (Director of Property Life Fund)
- Marks & Spencer / Chris Williams (MD Property Division)
- Prudential Life Assurance Ltd / John Proctor (Regional Director)

- Selfridges / Peter Williams (Chief Executive)
- The Crown Estate / David Shaw (Head of Regent Street Strategy)
- Robert Davis / Robert Davis (Personal Capacity)

オブザーバー(8名)

- London First / Jo Valentine (Chief Operating Officer)
- Bond Street Association / Penny Kennedy Scott (Executive Officer)
- British Hospitality Association / Jonathan Orr-Ewing (Head of London Division)
- Greater London Authority / Emma St Giles (Advisor to the Mayor)
- Metropolitan Police / Ian Larnder (Inspector)
- Oxford Street Association / Sally Humphreys (Director)
- Regent Street Association / Annie Walker (Executive Officer)
- Westminster Property Owners Assoc. / Douglas McCreadie (Director)

BID 区域

区域は、ロンドンの主要な国際的ショッピング・観光エリアであるウェストエンド中心部の主要な3つの商店街、ボンドストリート、オックスフォードストリート、リージェントストリートを含む。

NWEC の主要戦略

- 改善を促進して変化をもたらす (Influence)
- パートナーシップによる活動 (Work in Partnership)
- キャンペーン (Campaign)
- マスタープランの作成 (Masterplanning)
- マーケティング (Marketing)
- クリーン・チームによる街路管理 (Street Operations through the Red Caps and Clean Team)
- BID 法制化に向けた準備 (Prepare for Business Improvement District legislation)

メリット

不動産所有者	● 改善された環境と密着したマーケティングによるビジネス利益によって家賃が高くなる。
	● 可変資本が上昇する。
	● 場所の市場性は向上し、市場占有率が維持される。
小売業者	● 優れた洞察力を持ち、たくさんお金を使う顧客が楽しく安全で、魅力的な場所で買物をす
	ることで、売上と利益幅が増加する。
カウンシル	● GLAは、世界的都市としての位置づけに関し、創意に富んだ組織として認識されている。
	ウェスト・ミンスター・シティ・カウンシルは、創意と実績のある成功した地方自治体とし
	て知られており、両者とも民間企業や他の機関と共にパートナーシップを発展させること
	のできるリーダーである。
居住者	● より清潔で、安全で、魅力的な生活の場となる。
	● 買物やレジャー施設についてより多くの選択肢が得られる。